

日刊 THE NIKKAN 工業 KOGYO SHIMBUN 新聞

8月4日 木曜日

2022年(令和4年)

3Dプリンター協創組織

産学官で社会
実装促進
「AM研究会」発足

3次元積層造形技術(アディティブマニファクチャリング)AM、3Dプリンターの研究から社会実装までを産学官で促進する組織「AM研究会」が発足した。8月末に活動を開始する。日本金属学会が産業協創研究会として設立したもので、4年後をめどに国内初のAM学会発足も目指す。同研究会には学会や業種の枠を超えた参加を募り、20以上の大学・研究機関、80社以上の企業が参画。欧米に比べて後れている3Dプリンターの産業化を、幅広い分野にまたがる産学連携で後押しする。

AM研究会は8月29日、会長で大阪大学大学院工学研究科教授の中野日(ヒコ)にキックオフミーティングを開催する。同貴由氏、副委員長にはミレーン氏、副委員長には次世代3D積層造形技術総合開発機構(TRAFAAM)の前理事長である前川篤氏が就任。3Dプリンターや

産業界での活用方法を議論する研究会なども検討する。3Dプリンターでは2014年に発足した国家プロジェクトのTRAFAAMが国産機の開発を進めたほか、各学会が各領域で研究に

取り組んでいる。4月には近畿経済産業局のAM活用支援プロジェクトの運営を引き継いだ日本AM協会が発足した。業界、素材を網羅した組織はこれまでになかったという。AMの産業への活用ではドイツや米国がリードし、日本は出遅れている。同研究会ではAMによる製造業のデジタル化や、これまでにない特性を持った新素材の開発、新しい市場やビジネスモデルの創出などにより、日本の製造業の競争力強化につなげたい考えだ。

AM研究会の発足メンバー

民間企業約80社

3Dプリンターメーカー
材料メーカー
商社
エンジニアリング
制御/システム
ユーザー企業

大学14校

阪大、東大、東北大、
近畿大、兵庫県立大など

研究機関8団体

に100以上の企業、大学、研究機関の参加が決まっており、当日は経済産業省の田中哲也審議官やDMG森精機の森雅彦社長らが登壇する。同研究会の委員長には日本金属学会が参加し、海外企業も

1開催で情報発信や情報交換を進めるほか、

年2、3回のセミナー